

経営方針

当行は、昭和27年、久留米市をはじめとした福岡県南部の商工会議所、商工会が中心となり、地元中小企業の方々の金融逼迫の打開策と地元産業の育成、復興の使命を帯び、久留米市に本店を置き戦後の銀行として創立されました。

以来50数年、「地域社会へのご奉仕」等、4つの経営理念のもと、地域のお役に立つことが何よりもまして重要な社会的使命と考えてまいりました。

今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

筑邦銀行の 経営理念

- 地域社会へのご奉仕
- 総合金融サービスの向上・充実
- 信頼される銀行づくり
- 人材の育成と活力ある職場づくり

中期経営計画

当行は、平成18年4月より新しい「中期経営計画2006」をスタートさせました。
この計画は、当行の今後3年間の経営基本方針と取り組むべき経営戦略を示したものです。

「中期経営計画2006」のスタートにあたって

当行は、平成15年4月から平成18年3月までの3か年の前中期経営計画のもと、「選択と集中」を行動指針に、計画に掲げた諸施策を、全行一丸となって取組んだ結果、基本方針である「顧客第一主義の徹底」「健全性の確保」「人材の育成・活力ある職場作り」のそれぞれについて、着実な成果をあげてまいりました。

この間、わが国経済は本格的な回復軌道に乗り、企業業績の改善や個人消費が拡大する等、景気回復が鮮明になってきました。また、ペイオフ解禁拡大をはじめとする各種の制度改正や規制緩和が実施されるなかで、お客さまの新しい金融商品や金融サービスに対するニーズは高度化・多様化し、銀行に対する選別が益々強まりつつあります。

こうした厳しい時代を乗り切るために、「持続的な収益力の強化」、「地域密着型金融の高度化」、「企業風土の変革」を基本方針とし、『地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行』としての経営基盤を確立するために本計画を策定いたしました。

中期経営計画の概要

中期経営計画2006

(2006年4月～2009年3月)

目指すべき当行の姿 **地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行**



主要計数目標 (単体) 2008年度目標

- ◎実質業務利益 36億円
- ◎業務粗利益経費率 (OHR) 70%
- ◎当期純利益 11億円
- ◎自己資本比率 9%台